

科目名	教養総合演習						
科目名(英)							
単位数	4	時間数	60	担当者	上村 一則		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級2年						
授業概要	中上級レベルの公務員試験の過去問題を使用し、実際の試験と同じ時間で受験の体験を行う。自己採点と合わせて、マークシートの機会採点を行い、今後の学習に向けての教養科目の課題を洗い出していく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					過去問題を毎週解くことで、試験の形式に慣れ、自らの課題を洗い出す。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験過去試験問題						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	過去試験教養問題 全34回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～6月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	過去試験問題		○				100%
履修上の注意							

科目名	数的処理演習講義					
科目名(英)						
単位数	4	時間数	60	担当者	堀内 尊功、上村 一則、 大村 彩、花水 倫尚	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員中上級専攻科2年					
授業概要	数的処理において、オリジナルレジュメを用いて、中級～上級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。					
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
		○				過去問演習において、7割以上正解できる。
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	数的処理演習 全60回			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～9月)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	模擬試験		○			
						評価割合
						100%
履修上の注意						

科目名	自然科学演習講義						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	上村 一則、大村 彩		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科2年						
授業概要	自然科学において、オリジナルレジュメを用いて、中級～上級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				過去問演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自然科学演習 全30回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～9月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		○				100%
履修上の注意							

科目名	社会科学演習講義						
科目名(英)							
単位数	4	時間数	60	担当者	村田 祐貴子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科2年						
授業概要	社会科学において、オリジナルレジュメを用いて、中級～上級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				過去問演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	社会科学演習 全60回			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～9月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		○				100%
履修上の注意							

科目名	人文科学演習講義						
科目名(英)							
単位数	9	時間数	135	担当者	小川 文夫		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科2年						
授業概要	人文科学において、オリジナルレジュメを用いて、中級～上級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				過去問演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	人文科学演習 全135回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～9月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		○				100%
履修上の注意							

科目名	専門総合演習						
科目名(英)							
単位数	4	時間数	60	担当者	上村 一則		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級2年						
授業概要	中上級レベルの公務員試験の過去問題を使用し、実際の試験と同じ時間で受験の体験を行う。自己採点と合わせて、マークシートの機会採点を行い、今後の学習に向けての専門科目の課題を洗い出していく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				過去問題を毎週解くことで、試験の形式に慣れ、自らの課題を洗い出す。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験過去試験問題						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	過去試験教養問題 全34回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～6月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	過去試験問題		○				100%
履修上の注意							

科目名	法律系演習講義									
科目名(英)										
単位数	7		時間数	105		担当者	岡田広一郎・三角徳之・高取仙貴			
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員担当科目				
対象学科・学年	公務員中上級専攻科2年									
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 過去の本試験問題を中心に演習を行い、実戦力を養う。 演習に対応した解説授業を行うことで、基本事項の理解の確認を行い、応用問題への対応力を培う。 									
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報		知的技能		運動技能		態度意欲		その他	目標
		○								各試験種の過去の問題を解くことで、回答力を培う。
	○									各試験種の過去の問題を分析し、その傾向を理解する。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 演習用 問題・解説 オリジナルレジュメ 『公務員Vテキスト 地方上級・国家一般職・国税専門官 憲法・行政法・民法』(TAC出版) 									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	■憲法①・行政法①・民法① 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	2	■憲法②・行政法②・民法② 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	3	■憲法③・行政法③・民法③ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	4	■憲法④・行政法④・民法④ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	5	■憲法⑤・行政法⑤・民法⑤ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	6	■憲法⑥・行政法⑥・民法⑥ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	7	■憲法⑦・行政法⑦・民法⑦ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	8	■憲法⑧・行政法⑧・民法⑧ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	9	■憲法⑨・行政法⑨・民法⑨ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	10	■憲法⑩・行政法⑩・民法⑩ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	11	■憲法⑪・行政法⑪・民法⑪ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	12	■憲法⑫・行政法⑫・民法⑫ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	13	■憲法⑬・行政法⑬・民法⑬ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	14	■憲法⑭・行政法⑭・民法⑭ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
	15	■憲法⑮・行政法⑮・民法⑮ 演習及び解説授業					間違った問題のやり直しのみならず、正解に達した問題であっても、理解が不十分な問題の見直しを行う。			
評価方法	授業で実施する演習の成績を基準とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	演習問題(授業内実施)	○	◎							
履修上の注意	授業回によっては該当科目のテキストの持参が必要な場合がある。事前に案内をする。									

科目名	行政系演習講義						
科目名(英)							
単位数	3	時間数	45	担当者	村田 祐貴子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科2年						
授業概要	行政系科目において、オリジナルレジュメを用いて、中級～上級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				過去問演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	行政系演習 全45回			間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。		
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象4月～9月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		○				100%
履修上の注意							

科目名	経済系演習講義											
科目名(英)	principles of economics (exercise)											
単位数	3単位		時間数	45時間		担当者	堀内 尊功					
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目						
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年											
授業概要	経済系基礎講義で学習した内容の演習と解説講義を通して、国家専門職、国家一般職、地方上級の本試験問題を合格レベルまで引き上げる。											
授業形式	講義:	○		演習:	○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○				各分野の理論構造を理解し、論旨に沿って説明ができる。						
		○				過去問演習において、合格目標ラインを超えることができる。						
テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材(過去問演習シリーズ)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	過去問演習Ⅰ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	2	過去問演習Ⅱ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	3	過去問演習Ⅲ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	4	過去問演習Ⅳ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	5	過去問演習Ⅴ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	6	過去問演習Ⅵ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	7	過去問演習Ⅶ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	8	過去問演習Ⅷ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	9	過去問演習Ⅸ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	10	過去問演習Ⅹ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	11	過去問演習ⅩⅠ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	12	過去問演習ⅩⅡ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	13	過去問演習ⅩⅢ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
	14	過去問演習ⅩⅣ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し					
15	過去問演習ⅩⅤ					演習問題復習とまとめ、テキストの見直し						
評価方法	(1)授業の中で過去問演習テストを45回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合					
	定期試験		○				10%					
	小テスト		○				90%					
	宿題・レポート											
	発表・作品											
履修上の注意												

科目名	専門総合基礎						
科目名(英)							
単位数	5	時間数	75	担当者	堀内 尊功、岡田 広一郎、 村田 祐貴子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級2年						
授業概要	専門科目において、オリジナルレジュメを用いて、初級～中級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					過去問演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験過去試験問題						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	法律系演習 全37回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2	行政系演習 全20回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	3	経済系演習 全18回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象7月～9月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	過去試験問題		○				100%
履修上の注意							

科目名	教養演習基礎						
科目名(英)							
単位数	9	時間数	135	担当者	堀内 尊功、上村 一則、大村 彩、花水 倫尚、小川 文夫、村田 祐貴子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級2年						
授業概要	教養科目において、オリジナルレジュメを用いて、初級～中級レベルの公務員試験の過去問演習に取り組む。また、基礎内容で復習すべき内容についての解説授業も行っていく。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					過去問演習において、7割以上正解できる。	
テキスト・教材 参考図書	公務員試験過去試験問題						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会科学演習 全32回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	2	人文科学演習 全34回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	3	自然科学演習 全17回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	4	数的処理演習 全52回				間違った問題をまとめ、見直しを徹底する。	
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する模擬試験の結果により評価する。(評価対象7月～9月)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	過去試験問題		○				100%
履修上の注意							